星空の街のツインドーム

天文館 バルーンようか だより

2026.11

～11月は何を見ようかな…～





M45(スバル)
撮影:志舩智オペレーター

11月の観望会

朝夕寒くなり、秋から冬への季節の変わり目を感じるようになりました。
夜空の方も、冬の星座が顔を出し始めました。
秋の星空とともに一足早く冬の星々を見つけましょう。

☆日　時：**11 月 14 日(土) 午後8時から午後9時まで**
※（受付）**午後7時15分～午後7時30分　但馬長寿の郷第4駐車場**にて
☆場　所：天文館バルーンようか
☆参加費：小中学生 50 円　一般 100 円
※「ココロンカード」を持参された小中学生は無料です。
☆申込み：天文館バルーンようか事務局に電話（079-664-1628）
もしくは申込フォーム（→）にてお申し込みください。
（申込フォーム）
※申込締切 11 月 12 日(木)午後5時まで（電話でのお申し込みは16時30分まで）
☆注　意：当日の**天候により中止する場合があります**。（当日**午後5時**最終判断）
来館前には開館状況を**天文館バルーンようかホームページでご確認ください**。

☆裏面も見てくださいね☆

10月の観望会

10月の観望会は、好天に恵まれ、夏から秋の夜空を楽しみました。

観望広場ではアンドロメダ星雲、秋の大四辺形、秋の星座、また、当施設内の望遠鏡では土星やペルセウス座の二重散開星団を観望しました。

決して目立つ星々ではありませんが、秋にしか見られない星や星雲、星団はまた他の季節にはない魅力があり、参加した皆さんにもたくさん見ていただけました。



冬の夜空

今回はこれから見える冬の星々をご紹介します。

まずご紹介するのが「冬の大三角形」と言われる３つの星と星座。１つ目の星がオリオン座のベテルギウス。オリオン座はベテルギウス以外にも一列に並ぶ三ツ星が見つけやすくて目印になっています。また、オリオン大星雲が見られるのでも有名です。

そして２つ目の星がおおいぬ座のシリウス。冬の夜空の中ではひときわ明るい星です。

最後３つ目の星がこいぬ座のプロキオン。

この３つの星を結んだ「冬の大三角形」をぜひ探してみてください。

他にも注目すべきなのはおうし座、ふたご座。おうし座にはプレアデス星団という100個以上の星の集まり（散開星団）があり、日本では「すばる」の名で親しまれています。また、ふたご座のカストルという六重連星は流星群でも有名です。

気温が下がると空気も澄み、夜空もより輝いて見えます。これからのにぎやかな冬の夜空もぜひお楽しみください。

☆☆☆☆☆ 天文館バルーンようかのご利用について ☆☆☆☆☆

★完全予約制です★

＊当館をご利用の際は事前予約が必要です。

＊オペレーターによる望遠鏡の操作、解説によりその時々の星空を楽しんでいただけます。



やっぷーと20㎝屈折望遠鏡

★ココロンカード対象施設です★

兵庫県が発行している「ひょうごっ子ココロンカード」を受付で提示された小中学生は無料（観望会も無料）で利用できます。



ココロンカード

☆☆☆☆☆